

広報 やさと

NO.596

2005
(平成17年)

2月

目次

- 町制施行50周年記念式典 P2・P3・P4
- 八郷町議会第1回、第2回臨時会・農業委員会委員補欠選挙他 P5
- 石岡市・八郷町合併協議会だより P6・P7・P8・P9・P10・P11
- 農地転用の手続きは? P12
- 使っていないバイクや農耕用車両そのままになっていませんか P13
- けんこう通信 P14
- 八郷の歴史 47
- 図書室からのご案内 P15
- まちの話題できごと P16・P17
- みんなの広場 P18・P19
- ご存じですか?退職者医療制度
- 広報クイズ P20

八郷町制施行50周年記念式典

昭和30年1月1日、柿岡町、小幡村、葦穂村、恋瀬村、瓦会村、園部村、林村、小桜村が合併して八郷町が誕生してから今年で町制施行50周年の節目の年を迎えました。 関連記事 P2・P3・P4



町政功労者に表彰状と記念品が渡されました



全員で八郷町歌を斉唱しました



50周年の節目を祝う

八郷町制施行50周年記念式典



ごあいさつ

八郷町長 菊地 武雄

戦後の「復興」と「安定」と「自立」のための苦闘の中から、八郷町は昭和30年1月1日に市町村合併促進法に基づき1町7カ村が合併し、新生八郷町が誕生いたしました。誕生してから早、半世紀が経過し本年で町制施行50周年という記念すべき節目の年をむかえました。

これもひとえに「ふるさと八郷」を愛して止まない数多くの町民の皆さまのたゆまぬご尽力の賜ものであり、深く敬意と感謝を申し上げます。

本町の50年を振り返ってみますと、昭和の時代は「豊かな生活」が求められ、ほ場整備などの生産基盤の整備が盛んに推進され、併せて県道や町道などの生活基盤整備が図られました。石油ショックより経済の低成長期にはいつてくと「心の豊かさ」が求められるようになりました。その頃、自然休養村センターや国民宿舎「つくばね」がオープンしました。その後、環境問題が深刻化してくると「住みよい生活」が求められるようになり、新治地方広域事務組合によるじん芥処理場や消防業務が開始されました。また教育面では中学校の統合を進め、教育施設の充実が図られ、生産・環境・教育基盤等の広範な分野における町政運営が図られました。

平成の時代にはいり、町民の健康と福祉の充実を図るため保健センターが建設され、さらに都市的な環境整備としての下水道事業が順調に展開されているところで

す。

今後は、この50年の教訓を土台として、さらに力強い「活力あるまちづくり」が求められており、広域交通網の整備と併せて本町固有の環境、文化などの資源を活かし、生活環境や健康、福祉環境の向上に全力を傾注してまいりたいと思っております。

地方自治法施行から30年を経て、地域社会形成の方向付けをされた「地方の時代」から「地方分権の時代」へと市町村を取り巻く環境は大きく変わってきており、この大きな動きは「平成の大合併」と呼ばれ、地方再編への大きな流れになっております。

現在、石岡市との法定期限内の合併を実現させることが、私どもに課せられた最大の使命であると考えております。

今日まで50年間にわたる皆様方の「まちづくり」に対する熱意に深い敬意を表しますとともに「まちづくり」の総仕上げとして、町民と行政が一体となった「対話」と「参加」による新たな未来を見据え、開かれた行政運営に努めてまいります。

今後ともご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、町民各位のご多幸を祈念いたしましてごあいさついたします。



祝 辞

八郷町議会議長 永山公士

八郷町制施行50周年を迎え、町議会を代表してお祝いの言葉を申し上げます。

八郷町は、昭和30年1月1日に新治郡内の1町7カ村が合併して誕生いたしました。当時は、社会的にも政治的にも不安定な時代でありました。

これまでの50年間は、社会・経済各般にわたって変転窮まりのない日々でありましたが、3万町民の皆様が明るく住みよい文化的な生活ができるよう教育文化施設、保健衛生施設、道路、公営下水道等の整備が進められておりますことは、まことに心強い限りでございます。

また、八郷町は筑波山系の優れた自然環境のなかにあります。その自然と開発の調和をはかるため、緑豊かなまちづくり条例を制定し、秩序あるまちづくりの実現に大きな成果を挙げてまいりました。

これはひとえに、先輩諸氏の皆様の並々ならぬご尽力

と3万町民の郷土愛の発露によるものでありまして、地方自治の輝かしい成果と申すべきでありましょう。しかしながら、私たちは今、少子高齢化、IT化、グローバル化といったかつて先人が経験したことのない社会経済状況に直面しております。

私も議会といたしましても、そうした時代に即応した施策の展開を図るためには、石岡市と1市1町の合併が不可欠であるとの結論に達し、石岡市と合併協議が進められているところでございます。執行部と一丸となって、町民の皆様とともに知恵を出し合い、その実現に努力してまいりたいと存じます。

終わりに、八郷町のますますの発展と、町民の皆様のご健勝をお祈りするとともに、合併に向け邁進し、歴史と文化の香り高い新市の誕生を望みまして、お祝いの言葉といたします。



1月23日、八郷町立中央公民館で八郷町制施行50周年記念式典が盛大に開催されました。

式典は、地元選出の国會議員、県議會議員、近隣の市町村長・議會議長をはじめ、各種団体長や各行政区の区長など、約550名を招待して行われました。町長の式辞のあと、各分野で多年町の発展に功績のあった123名の皆さんに表彰状と記念品が贈られました。その後、来賓各位の祝辞、「ふるさと八郷町」の上映と続き、最後に全員で八郷町歌を斉唱して閉会となりました。

八郷町は、昭和30年1月1日に、柿岡町、小幡村、葦穂村、恋瀬村、瓦会村、園部村、林村、小桜村の1町7カ村が合併して誕生しました。誕生してから今年で半世紀、町制施行50周年の節目の年を迎えました。半世紀の歴史を刻んだ八郷町、明るく住みやすい八郷町を築くため、その時代時代を懸命に生き抜いた町民の皆さん一人ひとりの努力の積み重ねが、今の八郷町を築き上げてきたのです。



町政功労者など123名の受賞者

式典では、今日の八郷町発展のために、それぞれの分野で活躍され、多大な功績を残した皆さんへの表彰が行われました。受賞された方々は次のとおりです。

【順不同・敬称略】

町政功労者

▼多年町長として町政発展に貢献

○岩本佳之(小幡) ○中村謙一(柿岡)

▼多年町議会議員・議員として町政発展に貢献

○原田孟(小杉) ○菊地茂雄(柿岡) ○野内和夫(柿岡) ○中島仁平(葦穂) ○永井清(園部) ○関忠治(小杉) ○上田孝之(林) ○鈴木光雄(赤瀬) ○飯村嘉男(赤瀬)

▼多年町議会議員として町政発展に貢献

○鬼澤隆(小幡) ○岡崎勝巳(葦穂) ○伊藤昌次郎(園部) ○大場俊之(瓦合) ○川又紀征(小杉) ○入江貞一(赤瀬)

自治功労賞

▼多年町助役として町政発展に貢献

○木崎眞(小幡) ○鈴木武夫(林) ○小松崎長太(柿岡) ○川保忠(千代田町)

▼多年町収入役として町政発展に貢献

○瀬尾茂(柿岡) ○吉川浩(林) ○仁平修介(赤瀬) ○赤羽根實(柿岡)

▼多年農業委員会委員・会長として農政発展に貢献

○前沢榮一

(赤瀬)

▼多年農業委員会委員として農政発展に貢献

○熊岡米藏(園部)

▼多年区長として町政発展に貢献

○金澤大典(柿岡) ○大枝恒雄(柿岡) ○市塚義則(林) ○櫻井量一(小幡) ○今野誠一(林) ○岩田定次(小杉)

▼多年納税組合長として町政発展に貢献

○足立作右衛門(葦穂)

○田中博(葦穂) ○菊地一郎(葦穂) ○駒場満(葦穂) ○青木澄雄(赤瀬) ○久保田高市(瓦合) ○眞家哲一(園部) ○富田俊男(園部)

▼多年町職員として町政発展に貢献

○飯村重信(園部) ○上田久(林)

○鯉淵徳松(柿岡) ○峯政雄(葦穂) ○笹沼登(林) ○松田和夫(柿岡) ○高野春生(赤瀬) ○滝田國雄(柿岡) ○白井忠雄(葦穂) ○前島昭一(小杉) ○菱沼秀雄(小杉) ○中島忠(葦穂) ○小川廣雄(葦穂) ○高橋榮(小幡) ○谷島重洋(瓦合) ○君山孝道(小杉)

▼多年教育委員・教育長として教育の振興に貢献

○小河原四郎

▼多年教育委員・教育長として教育の振興に貢献

○小幡

▼多年教育委員・教育長として教育の振興に貢献

○小幡

▼多年教育委員・教育長として教育の振興に貢献

○小幡

(瓦合) ○根本興元(小幡) ○本図亨(葦穂) ○軽部豊(葦穂) ○瀧田照江(柿岡) ○大槻和夫(園部)

▼多年学校医として学校保健の充実に貢献

○吉川侑(柿岡) ○桜井忠隆(小杉)

▼多年学校歯科医として学校保健の充実に貢献

○東基旦(林) ○石田尚身(葦穂)

▼多年学校薬剤師として学校保健の充実に貢献

○小井戸淳郎(石岡市)

▼多年公民館運営審議委員として社会教育の振興に貢献

○柘植仁(赤瀬) ○久保田芳男(園部) ○吉田とし子(柿岡) ○内海幸一郎(小幡) ○鈴木重章(葦穂) ○萩原壽盈(小杉) ○飯村訓一(林) ○田上七郎(林)

▼多年地区公民館長として社会教育の振興に貢献

○酒井薫(赤瀬) ○倉田展郎(園部)

▼多年青少年相談員として青少年の健全育成に貢献

○木崎廣美(小幡) ○本図一衛(葦穂)

▼多年文化財保護審議委員として文化財保護に貢献

○西宮二男(水戸市) ○一色史彦(十浦市)

▼多年スポーツ振興審議委員会として文化財保護に貢献

○西宮二男(水戸市) ○一色史彦(十浦市)

▼多年スポーツ振興審議委員会として文化財保護に貢献

○西宮二男(水戸市) ○一色史彦(十浦市)

して社会体育の振興に貢献

○海老澤駿也(柿岡) ○助川良一(柿岡) ○高橋浩(赤瀬)

▼多年体育指導員として社会体育の振興に貢献

○伊藤政男(園部) ○友常満登(小杉) ○友部文子(園部) ○谷嶋昇(瓦合) ○櫻井正男(小幡) ○駒村道廣(小幡) ○高野惣一(赤瀬) ○飯田常次(葦穂) ○鴻巣義治(小杉) ○田上茂(小杉) ○関口昌之(柿岡) ○井川菊枝(葦穂) ○鬼澤茂(小幡) ○成田晴良(園部) ○川井正紀(柿岡) ○岩淵妙子(林)

▼多年民生委員児童委員として社会福祉に貢献

○久保田昌文(園部) ○生田目惣次郎(葦穂) ○比企たま(瓦合) ○奥村忠(瓦合) ○中島定右衛門(葦穂) ○羽生彰(小杉)

▼多年国民健康保険運営協議会委員として国民健康保険の充実に貢献

○江畑隆夫(柿岡) ○岡本昇(赤瀬) ○鈴木守(瓦合) ○吉田行雄(柿岡) ○鈴木董(園部) ○相田敏(赤瀬) ○岡野敏夫(葦穂)

▼多年国民健康保険運営協議会委員として国民健康保険の充実に貢献

○江畑隆夫(柿岡) ○岡本昇(赤瀬) ○鈴木守(瓦合) ○吉田行雄(柿岡) ○鈴木董(園部) ○相田敏(赤瀬) ○岡野敏夫(葦穂)

▼多年国民健康保険運営協議会委員として国民健康保険の充実に貢献

○江畑隆夫(柿岡) ○岡本昇(赤瀬) ○鈴木守(瓦合) ○吉田行雄(柿岡) ○鈴木董(園部) ○相田敏(赤瀬) ○岡野敏夫(葦穂)

▼多年国民健康保険運営協議会委員として国民健康保険の充実に貢献

○江畑隆夫(柿岡) ○岡本昇(赤瀬) ○鈴木守(瓦合) ○吉田行雄(柿岡) ○鈴木董(園部) ○相田敏(赤瀬) ○岡野敏夫(葦穂)

▼多年国民健康保険運営協議会委員として国民健康保険の充実に貢献

○江畑隆夫(柿岡) ○岡本昇(赤瀬) ○鈴木守(瓦合) ○吉田行雄(柿岡) ○鈴木董(園部) ○相田敏(赤瀬) ○岡野敏夫(葦穂)

▼多年国民健康保険運営協議会委員として国民健康保険の充実に貢献

○江畑隆夫(柿岡) ○岡本昇(赤瀬) ○鈴木守(瓦合) ○吉田行雄(柿岡) ○鈴木董(園部) ○相田敏(赤瀬) ○岡野敏夫(葦穂)

▼多年国民健康保険運営協議会委員として国民健康保険の充実に貢献

○江畑隆夫(柿岡) ○岡本昇(赤瀬) ○鈴木守(瓦合) ○吉田行雄(柿岡) ○鈴木董(園部) ○相田敏(赤瀬) ○岡野敏夫(葦穂)

防災功労者

▼多年消防団・団長として町防災に貢献

○谷島博久(瓦合) ○君山好道(小杉)

▼多年消防団・団員として町防災に貢献

○櫻井襄次(小幡) ○加藤充(林) ○平行泰(柿岡) ○菊地猛(林) ○片岡征雄(柿岡)

▼多年水質監視員として環境保全に貢献

○市村道(柿岡) ○小林晋(林)

善行者

▼多年水質監視員として環境保全に貢献

○市村道(柿岡) ○小林晋(林)

民生・福祉功労賞

▼多年民生委員児童委員として社会福祉に貢献

○久保田昌文(園部) ○生田目惣次郎(葦穂) ○比企たま(瓦合) ○奥村忠(瓦合) ○中島定右衛門(葦穂) ○羽生彰(小杉)

▼多年国民健康保険運営協議会委員として国民健康保険の充実に貢献

○江畑隆夫(柿岡) ○岡本昇(赤瀬) ○鈴木守(瓦合) ○吉田行雄(柿岡) ○鈴木董(園部) ○相田敏(赤瀬) ○岡野敏夫(葦穂)

▼多年国民健康保険運営協議会委員として国民健康保険の充実に貢献

○江畑隆夫(柿岡) ○岡本昇(赤瀬) ○鈴木守(瓦合) ○吉田行雄(柿岡) ○鈴木董(園部) ○相田敏(赤瀬) ○岡野敏夫(葦穂)

▼多年国民健康保険運営協議会委員として国民健康保険の充実に貢献

○江畑隆夫(柿岡) ○岡本昇(赤瀬) ○鈴木守(瓦合) ○吉田行雄(柿岡) ○鈴木董(園部) ○相田敏(赤瀬) ○岡野敏夫(葦穂)

▼多年国民健康保険運営協議会委員として国民健康保険の充実に貢献



受賞者を代表して、鈴木光雄氏が謝辞を述べました。

平成17年第1回

八郷町議会臨時会

1月7日、平成17年第1回議会臨時会が開催されました。

案件は、石岡市・八郷町合併協議会設置に関する協議と、平成16年度八郷町一般会計補正予算(第6号)が審議され、原案のとおり可決されました。

●石岡市・八郷町合併協議会設置に関する協議について

市町村の合併の特例に関する法律第3条第1項の規定(合併協議会の設置)に基づき、石岡市と八郷町による合併協議会を設置して、合併に関する基本的な計画などを作成するものです。

●平成16年度八郷町一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出それぞれ石岡市・八郷町合併協議会設置に伴い負担する650万円のうち、不足する74万円を増額して、予算総額を100億870万円6千円としました。



平成17年第2回

八郷町議会臨時会

1月21日、平成17年第2回議会臨時会が開催されました。

八郷町教育委員会委員の選任についての同意を求める案件が2件で、原案のとおり可決されました。

●八郷町教育委員会委員の選任の同意

教育委員の鈴木健就氏と、小松崎淑江氏の任期が1月31日に満了となることから、再度選任したく提案され、可決されました。

鈴木健就氏(柿岡・67歳)は、潮田左四郎氏逝去後、後任として平成12年7月17日に選任されて以来残任期間6カ月と併せて2期4年6カ月間町教育委員として教育の発展に活躍されています。

小松崎淑江氏(柿岡・62歳)は、平成13年2月1日に選任され、町教育の発展に活躍されています。両氏ともこれまでの豊富な経験と識見によりまして、町の教育行政の更なる発展のため、ご活躍が期待されます。



鈴木 健 就 氏



小松崎 淑江 氏

八郷町農業委員会委員

補欠選挙

1月16日、柿岡地区(第1選挙区)の加藤勝一氏逝去による欠員が生じたために、八郷町農業委員会委員補欠選挙が行われました。しかし、候補者が選挙すべき数を越えなかったため、1月17日に行われた第1選挙区選挙会で、届出のあった綿引善次郎氏(片野・65歳)の当選が決定されました。任期は残任期間の平成18年7月19日までとなります。

綿 引 善 次 郎 氏



町有財産売却のご案内

町有財産(旧給食センター用地・建物)をお売りします。購入希望の方は現地確認と、一般競争入札要綱を確認のうえ、平成17年3月10日(木)までに八郷町役場管財課まで申し込みをしてください。

- 所在地 八郷町大字柿岡字神取1319の1
- 宅地 2140・06平方メートル ●構造 平屋RC構造
- 築年月 昭和44年4月
- 入札日 平成17年3月18日 午後2時
- 問い合わせ先 役場3階 管財課(内線1364)

合併協議会 vol.1



前列左から、永山公士議長・菊地武雄町長（八郷町）、横田凱夫市長・久保田健一郎議長（石岡市）

第1回 石岡市・八郷町合併協議会

10月1日に新設合併 新市名は石岡市

第1回合併協議会が、1月13日に石岡市大砂のふれあいの里石岡「ひまわりの館」大ホールで、開催されました。

7つの報告事項と14の協議事項が提案され、会長の横田市長が議長を務める中、合併の最重要項目である基本四項目（合併方式・期日・名称・事務所の位置）は休憩を挟んだ議論の末に決定しました。

3月の県知事申請に向けて、月2回のペースで協議会は開催されます。

夢あるまちづくりへ

会長 横田凱夫

八郷町と石岡市は古くから緊密な関係にあり、自然と歴史、文化・経済、日常生活で相互に連携を保ちながら、それぞれに個性あるまちづくりを積み重ねてきました。

この二つのまちが、1月7日に双方の議会における協議会設置の議決を受けて、同日にこの石岡市・八郷町合併協議会をスタート

させました。

合併特例法では、3月末日までにすべての協定項目の協議を整え、新市建設計画を策定し、県知事に申請することが求められています。これは、相当に厳しいスケジュールです。

この限られた時間の中で、凝縮された議論を交わし、効率的な議事運営を進めながら、八郷町と石岡市の夢あるまちづくりビジョンを描いていかなければなりません。

私を含めた委員24名全員が心一つにして、8万3千余の住民の負託にこたえることがその使命であると思っています。

この合併は、この地域の歴史に残る出来事になるでしょうが、それだけに開かれた協議会の中で、地域の土台を築くための前向きな議論を重ねていく必要があります。

石岡市と八郷町の住民の皆様には、今日まで理解あるご支援をいただいたことに心から感謝を申し上げ、引き続きご指導ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。

相互信頼・相互理解で

副会長 菊地武雄

第1回目の合併協議会がスタートし、今日に至る経過を振り返りますと大変感慨深いものがあります。石岡市と八郷町は歴史的に見ても不可分の関係にあり、その二つのまちが合併を目指して協議を重ねていくことは、まさに新しい

時代の理想のまちづくりが始まったといっても過言ではないでしょう。

法定期限内の合併を実現させることが、私どもに課せられた最大の使命と考えています。合併協議を進めていくことは、決して平坦な道のりではないかもしれませんが、前の4市町村合併協議会における解散の教訓を生かし、互譲の精神で効率的な協議を進めていきたいと思っています。

副会長を仰せつかったというところで、横田会長を微力ながら補佐し、石岡市と八郷町が相互信頼と相互理解のもと良好な関係で手を携えていくことを祈念し、第1回協議会の開催にあたりましてのあいさつといたします。

◎合併協議会開催日程

- 第3回協議会 2月12日（土）午前10時～
ひまわりの館大ホール
- 第4回協議会 2月23日（水）午後1時30分～
ひまわりの館大ホール
- 第5回協議会 3月1日（火）午後1時30分～
ひまわりの館大ホール

※協議の状況により、変更することもあります。

10月1日 新設合併
事務所は石岡市役所

最重要項目である合併方式・合併期日・新市名称・新市の事務所の位置は、横田会長の提案によって一括協議になりました。

新市名称は「石岡市」、事務所の位置は石岡市役所（石岡市大字石岡3165-2）と決まりました。

合併の期日は、住民サービスへの影響、電算システムの統合、予算編成などを総合的に判断し、覚えやすい10月1日と決定。

合併方式は、石岡市の委員から「編入が望ましい」との意見があり、これに対し八郷町の複数の委員から「新設以外は考えていない」「旨の発言があり、協議は一時中断しました」。

休憩後、石岡市の委員から「最初は編入と思っていたが、八郷町で名称も事務所の位置も譲ってくれたので、合併方式の考えは改める必要があると思った。合併は相互に譲り合い認め合うことが大切なので、方式は新設でいいと思う」という意見が出てきました。さらに石岡市の委員から「四つのときは新設だったので、新設で問題はない」「市民にとって、新設の方にメリットがある」などの意見が続きました。



ふれあいの里石岡「ひまわりの館」で開催された協議会

協議会の

会議運営（概要）

・会議は会長が招集し、委員の半数以上の出席で開催できます。

（規約 第9条・10条）

・会議の議事は、全会一致が原則です。十分な議論を尽くしても意見が分かれた場合は、議長の判断で出席委員の3分の2以上の賛成（挙手）で決定します。

（会議運営規程 第5条）

・傍聴人の定員は30人です。受付を開催時刻の30分前から先着順に行います。その時点で、希望者が30人を超えた場合は、くじ引きで決定します。

（傍聴規程 第2条・3条）

最後に八郷町の菊地町長が「議会にも町民にも対等な合併ということとで理解を得ている。八郷町にとつて対等は譲れない線で、このことは理解してほしい」と力説し、満場一致で新設合併に決定しました。

合併協議会設置までの歩み

〔平成16年〕

7月30日 美野里町・玉里村・八郷町・石岡市合併協議会の解散が決定

10月29日 石岡市長が、八郷町と玉里村に合併特例法期限内合併への協議を申し入れ

11月10日 八郷町議会で、石岡市からの要請を了承

11月12日 玉里村長が、3市町村による合併協議には参加できない旨を回答

11月19日 八郷町議会で石岡市との合併協議推進を決定

11月29日 市長が市議会で八郷町との期限内合併を提案

12月9日 市長が八郷町との合併協議会設置議案をいったん取り下げ、合併に関する市民アンケートを実施

12月27日 市長が市民アンケートの結果を受け、協議会設置議案を再度提案することとを表明

〔平成17年〕

1月7日 石岡市・八郷町両議会、石岡市・八郷町合併協議会の設置議案を可決し、合併協議会が設置



16年度事業計画

- ・3月までに5回程度協議会を開催
- ・合併調印式を3月中に予定
- ・2月中旬に住民説明会を開催
- ・合併協議会だよりを石岡市・八郷町の広報紙に掲載
- ・合併協議会ホームページを開設（石岡市・八郷町の公式ホームページとリンク）

歳入	予算額	単位：千円
負担金	13,000	石岡市・八郷町各 6,500
預金利子	1	
合計	13,001	

◇協議会が行うもの

合併に関する協議、新市建設計画の作成、その他合併に関すること

歳出	予算額	単位：千円
運営費	会議費 2,950	委員報酬、会議録作成等
	事務費 6,397	時間外手当、事務備品等
事業費	事業推進費 3,554	例規作成・建設計画策定等
予備費	予備費 100	
合計	13,001	

◇合併協議会の組織図

事務局
局長・次長・総括班長 総務班・調整班・計画班 (計 11 名体制)
協議会の会議関係 協議資料の作成 協議会の庶務

合併協議会
会長 横田凱夫 (石岡市長)
副会長 菊地武雄 (八郷町長)
委員 (議長 2・議員 10・学識経験者 10)
顧問 合併に関するすべての協議

幹事会
幹事長 阿部 聖 (石岡市助役)
副幹事長 白田龍滋 (八郷町助役)
幹事 8 名 (総務企画部課長等)
会長の指示を受け、協議会に提案する 事項についての協議・調整

専門部会
総務 住民 保健福祉 産業経済 建設 教育 議会事務局 消防 の 8 部会
幹事長の指示による事務事業・制度調整

分科会
8 部会のもとに、23 分科会 担当係員で構成

協議会は傍聴できます
定員は 30 名。協議会開始 30 分前に先着順で受け付けます。ただし、定員を超えたときには、抽選となります。

ホームページ開設中です
合併協議会の動きや合併に関する情報、会議資料、議事録を掲載しています。(石岡市・八郷町の公式ホームページとリンク)

会議資料は閲覧できます
会議資料は、石岡市役所・八郷町役場の企画課で閲覧することができます。閲覧時間は、月曜日から金曜日までの開庁日の午前 9 時から午後 5 時まで。

合併協議会事務局
〒 315-0027 石岡市杉並二丁目 1 番 1 号 石岡市保健センター内 TEL 0299-27-8867 FAX 0299-24-1393 メール info_gappei@bz01.plala.or.jp

監査委員	顧問 (県会議員)
久保田満男	坪井 透 (新治郡)
本 亨	戸井田和之 (石岡市)

学識 経験者	議員	議長	市長町長
藤原康二 (県南総合事務所長)	久保田健一郎 永山公士	横田凱夫 菊地武雄	(上 石岡市 下 八郷町)
井坂日出代 小松崎淑江	鈴木せつ子 川井貞夫	鈴木行雄 山田 保	
岩崎恒男 佐々木 明	上野榮一 中村茂夫	亀井比志子 入江貞一	
浅野千秋 前沢 榮一	磯部延久 鈴木米造		
大和田達郎 桜井 仁博	鈴木せつ子 川井貞夫		

合併協議会のメンバー



石岡市・八郷町

合併協議会 だより vol.2

第2回 石岡市・八郷町合併協議会

11の協議事項が可決

2件が継続協議

第2回合併協議会が、1月26日に八郷町役場101会議室で開催されました。報告事項1件と13の協議事項が提案され、そのうち、議会議員と農業委員の定数と任期については、継続協議となりました。新市の住所の表示は、地域の文化・歴史を尊重し、大字を省き現行のまま存続させることに決まりました。新市の10年間の方向つける建設計画の原案も示され、県との協議に向けて、準備が整いました。

第2回協議会では、13項目の協議が行われ、次のような調整方針が決まりました。

調整方針はこれからの調整作業における指針で、これに基づき具体的な項目について一体化などの調整を行っていきます。

財産・債務は新市に引き継ぐ

調整方針

・石岡市と八郷町が所有する財産と債務は、すべて新市に引き継ぎます。

石岡市・八郷町の主な財産と債務（平成16年3月末現在）

区分	石岡市	八郷町
財産	土地	1,219,874 m ²
	建物	172,619 m ²
	車両	155台
	基金	4,794 百万円
債務	地方債等	32,028 百万円
	債務負担行為 (H16以降の支出額)	650 百万円
		21,872 百万円
		2,437 百万円

一般行政職の平均年齢・給料

区分	石岡市	八郷町
平均年齢	43 歳 3 月	44 歳 1 月
平均給料月額	3,422 百円	3,544 百円
ラスパイレ ス 指 数	95.2	98.4

（平成16年4月現在）

※ラスパイレ指数：国家公務員の給与を100とした場合の地方公務員の給与水準

石岡市・八郷町の職員数（平成16年4月現在）

区分	石岡市	八郷町
首長事務局	278 人	221 人
議会事務局	7 人	4 人
監査委員事務局	3 人	(兼任4)
教育委員会事務局	69 人	47 人
農業委員会事務局	4 人	5 人
消防機関	85 人	—
地方公営企業	—	10 人
合 計	446 人	287 人

新市において職員の設定適正化計画を策定
調整方針
・両市町の職員は、新市の職員として引き継ぎます。
・職員数は、新市で定員適正化計画を作り、適正な定員管理に努めます。

使用料をとる主な社会教育施設

区分	石岡市	八郷町
公民館	府中地区・東地区・城南地区公民館	中央公民館地区公民館(7館)
社会体育	運動公園 海洋センター 柏原野球公園 柏原球技公園 柏原サッカー公園	総合運動公園 武道館 ターゲットバードゴルフ場 農業者トレーニングセンター

・手数料は、合併時に統一するよう努めます。

・使用料は、原則現行のとおり。ただし、同一または類似する施設の使用料は統一するよう努めます。

使用料・手数料の取扱い

調整方針

条例などの数

項目	石岡市	八郷町
条 例	169	124
規 則	161	119
その他	488	239
合 計	818	482

・合併後、逐次制定し、施行させるもの

条例・規則の取扱い
調整方針
条例・規則の制定は、次の3つの区分によって整備します。
・合併と同時に制定し、施行させる必要があるもの
・合併後、一定の地域に暫定的に施行させる必要があるもの

**議員任期
在任特例を選択
特例期間は次回以降に**

議会議員の定数と任期の取扱い

新市における議会議員の取扱いは、合併後に両市町の議員（現：石岡市24名・八郷町20名）が2年以内の期間、引き続き在任できる「在任特例」に決まりました。

しかし、その期間については、合併後1年間に2年間まで複数の意見が出され、絞り込みはできませんでした。休憩をはさんでの協議の末、特例期間の決定は次回以降に継続協議となりました。

農業委員会の委員の定数と任期の取扱いも、同様に継続協議となりました。

(財)八郷町産業文化事業団が管理運営する茨城県フラワーパーク



議員数と任期

区 分	石岡市	八郷町	計
人 口 (H12 国調)	52,568 人	30,551 人	83,119 人
議員数	24 人	20 人	44 人
任 期	平成 19 年 5 月 1 日	平成 19 年 12 月 31 日	—

**補助金・交付金の取扱い
調整方針**

両市町の補助金、交付金などの取扱いは、次のとおり新市において調整します。



(財)石岡市開発公社が管理運営する常陸風土記の丘

**公共的団体の取扱い
調整方針**

・同一種類の補助金・交付金などは、統一の方向で調整します。

・独自の補助金・交付金などは、経緯、実績を踏まえ調整します。

・(財)石岡市開発公社と(財)八郷町産業文化事業団は当面現行のとおりとします。

・公共的団体は一体性を確保するため、実情を尊重しながら統合整備に努めます。

・独自の団体は、原則として現行のとおりとします。

主な公共的団体（例示）

区分	石岡市	八郷町
商工観光	商工会議所、観光協会、歴史ボランティアの会	商工会、観光協会、ふるさとの史跡守り隊
産業経済	ひたち野農協、森林組合、山王川・関川霞・高浜入土地改良区	八郷町農協、森林組合、八郷町土地改良区
福祉関係	社会福祉協議会、老人クラブ連合会、石岡地方広域シルバー人材センター	社会福祉協議会、老人クラブ連合会、八郷町シルバー人材センター
教 育	P T A連絡協、子ども会育成連合会、文化協会、体育協会、スポーツ少年団、図書館ボランティア団体、美術協会	P T A連絡協、子ども会育成連合会、文化協会、体育協会、スポーツ少年団、婦人会、少年少女合唱団
消 防	石中学区婦人防火クラブ、府中中学区婦人防火クラブ、小学校少年防火クラブ	八郷町婦人防火クラブ、小学校少年防火クラブ
住 民	くらしの会、自治会連合会	くらしの会、区長連合会

2 市町の大字名と町名

大字名	石岡市	八郷町
	石岡・染谷・村上・高浜・北根本・中津川・東田中・東大橋・小井戸・三村・石川・井関・柏原・市川・東野寺・下林*・半ノ木・根当・池の台・大砂・碁石沢・栄松・正上内	柿岡・金指・片野・小幡・須釜・細谷・上青柳・下青柳・加生野・猪内・鯨岡・小山田・小屋・上曾・小倉・吉生・芦穂・中部・大増・大塚・太田・中戸・小見・瓦谷・宇治会・部原・野田・佐久・小堀・柴間・山崎・宮ヶ崎・真家・東成井・根小屋・下林*・嘉良寿理・片岡・浦須・上林・半田・川又・月岡・青田・弓弦・柴内・辻・菖蒲沢・小野越・仏生寺・朝日

※印の「下林」は重複する大字で、石岡市は公衆用道路の2筆

町名	石岡市
	旭台一～三丁目・荒金・泉町・大谷津・貝地一、二丁目・柏原町・鹿の子一～三、四丁目・北府中一～三丁目・国府一～七丁目・正上内・杉並一～四丁目・杉の井・総社一、二丁目・田島一、二丁目・東光台一～五丁目・並木・行里川・八軒台・茨城一～三丁目・東石岡一～五丁目・東府中・府中一～五丁目・南台一～四丁目・谷向町・若松一～三丁目・若宮一～四丁目

2 市町の小中学校

石岡市	学級	児童・生徒	八郷町	学級	児童・生徒
石岡小学校	15	468人	園部小学校	13	293人
府中小学校	20	527人	東成井小学校	6	161人
高浜小学校	7	110人	瓦会小学校	7	143人
東小学校	24	701人	林小学校	7	178人
三村小学校	7	141人	恋瀬小学校	8	170人
関川小学校	5	71人	葦穂小学校	7	110人
北小学校	6	133人	吉生小学校	6	85人
南小学校	17	534人	柿岡小学校	13	301人
杉並小学校	17	517人	小幡小学校	7	154人
			小桜小学校	7	140人
石岡中学校	17	553人	園部中学校	8	213人
府中学校	17	522人	有明中学校	7	210人
城南中学校	8	216人	柿岡中学校	12	378人
国府中学校	6	214人	南中学校	7	153人

石岡市の幼稚園	
高浜幼稚園	18人
東幼稚園	23人

合併協議会事務局
〒315-0027
石岡市杉並二丁目1番1号
石岡市保健センター内
tel 0299-27-8867
fax 0299-24-1393
メール
info_gappei@bz01.plala.or.jp

協議会は傍聴できます
定員は30名。協議会開始30分前に先着順で受け付けます。ただし、定員を超えたときには、抽選となります。

ホームページでも見られます
合併協議会の動きや合併に関する情報、会議資料、議事録を随時掲載していきます。
(石岡市・八郷町の公式ホームページとリンク)

会議資料は閲覧できます
会議資料は、石岡市役所・八郷町役場の企画課で閲覧することが出来ます。閲覧時間は、月曜日から金曜日までの開庁日の午前9時から午後5時まで。

3月上旬に計画案が正式決定となったとき、その概要をお知らせする予定です。

町名・字名はそのまま存続
―大字は用いないで表記―
町名・字名の取扱い
調整方針

慣行の取扱い
調整方針

市章、市民憲章、市の花、木、鳥
名誉市民制度、表彰制度は、新市で新たに制定します。

都市宣言は、新市において検討します。

協議の中で、市章は石岡市のも
のとし、市の花は万葉集などに
たわれたユリ、木は常緑樹の椎
鳥は自然の豊かさを象徴するひば
りにしてはどうかという提案があ
り、全員が賛意を示しました。

主なシンボル

区分	石岡市	八郷町
市町章		
花	ひまわり	ユリ
木	けやき	椎
鳥	ひばり	未制定

電算システムは
合併時までには統合
調整方針
・基幹電算システムは、住民サ

新市建設計画の原案を了承
新市建設計画は原案が示さ
れ、全会一致で了承されまし
た。今後の県との協議を経て

・区域外就学と指定校変更は、
石岡市の制度に統一します。

学校・幼稚園の通学区域は
現行のまま
調整方針

・小中学校と公立幼稚園の通学
区域は現行のまま新市に移行
します。

農地転用の手続きは？



農地の売買には
許可が必要です

農地の転用には
許可が必要です

＜3条申請＞

農地を耕作目的で売買する時には、農業委員会の許可が必要です。許可を受けずに行った売買は法的に無効であり、所有権移転の登記ができません。

なお、資産保有や投資目的による売買、また農地を取得する適格者（自らが権利に基づいて耕作する面積が、申請地を含めて50㎡以上）でない場合は許可されません。

農地の転用とは、農地を住宅、車庫、工場、倉庫、資材置場、駐車場、山林などに用途を変更することであり、農業委員会を経て、知事の許可が必要です。

＜4条申請＞

自分名義の農地を転用する場合。

＜5条申請＞

他人名義の農地を買って、あるいは借りて、転用する場合。4条申請と5条申請は次のような内容を審議します。

- ① 転用の目的は適正か。
 - ② 転用の面積は適正か。
 - ③ 必要な同意はあるか。
 - ④ 付近の農業に与える影響はどうか。
 - ⑤ 転用の目的は確実に実現できるかどうか。
 - ⑥ 他の法令関係で手続きが必要な場合は、それがなされているかどうか。
- などを書類審査し、また申請された土地の全てについて、現地へ行き、調査を実施します。

転用申請をする場合は、農振が除外されていないとできません。

※詳しくは、役場2階農政課（内線1213）までお問い合わせください。

（注）町が定めた農業振興整備計画による農用地区域内の農地は、原則として、許可されません。
どうしても転用が必要な場合は、転用許可申請前に、農用地区域内からの除外の許可を受ける必要があります。

■許可書の交付まで

＜3条申請＞

毎月15日までに申請

定例委員会で決定（毎月25日）

許可書交付（申請月の月末）

＜4条・5条申請＞

毎月15日までに申請

定例委員会で審議（毎月25日）

県（または国）で決定

許可書交付（申請月の翌月の末日以降）

※申請・委員会開催日が土・日・祝祭日の場合にはその翌日になります。



許可なく

転用したら？

無断転用には厳しい罰則

許可を受けずに行った行為は、農地法違反ですので、農地等の権利取得の効力が生じないだけでなく、都道府県知事は工事の中止、現状回復などを命ずることができます。また、これらに違反した場合には、3年以下の懲役または300万円以下の罰金、あるいは6カ月以下の懲役または30万円以下の罰金が科せられます。

使っていない
バイクや農耕用車両
そのままになって
いませんか？

軽自動車・バイク・農耕用車両の 廃車・名義変更について

●問い合わせ先 役場 1 階 税務課 1131 ~ 1137

軽自動車税は 4 月 1 日現在の所有者に課税されます。次のような例等に該当していて、廃車や名義変更がされていない場合には軽自動車税が毎年課税されてしまいますので、至急手続きをしてください。

- 例
- 1 登録したまますでに使用不可能となり、車両を放置している。
 - 2 ナンバーを返却せず、車両を処分してしまった。
 - 3 他人に譲渡したが、まだ名義変更をしていない。
 - 4 他人に譲渡したが、名義変更をしないまま車両が行方不明になってしまった。
 - 5 盗難に遭い車両がみつからず、廃車手続きをしていない。



手続きをする場所は、

軽自動車の種別によって次のようになります。それぞれ手数料がかかります。

- | | | |
|-------------------------------------|--------------|-------------------------|
| ●三輪・四輪軽自動車 | 軽自動車検査協会土浦支所 | 0 2 9 (8 4 3) 3 5 3 5 |
| ●軽自動二輪車 (1 2 6 c c 以上) | 土浦自動車検査登録事務所 | 0 2 9 (8 4 2) 8 1 1 1 |
| ●八郷町ナンバーのバイク (1 2 5 c c 以下) 農耕用車両 | 役場 1 階 住民課 | 内線 1 1 1 1 |

廃車の手続きで必要なもの

■三輪・四輪軽自動車 (軽自動車検査協会土浦支所)

- ①ナンバープレート
- ②自動車検査証
- ③使用者と所有者の印鑑 (法人の場合は代表者印)
- ④ナンバーがない場合は理由書 (様式は軽自動車検査協会にあります)

■軽自動二輪車 (1 2 6 c c 以上) (土浦自動車検査登録事務所)

- ①ナンバープレート
- ②軽自動二輪届出済証または自動車検査証
- ③印鑑
- ④ナンバーがない場合は理由書 (様式は特にありません)
- ⑤代理人の申請は委任状 (2 5 1 c c 以上の場合)

■八郷町ナンバーのバイク (1 2 5 c c 以下) と農耕用車両 (役場 1 階住民課)

- ①ナンバープレート
- ②印鑑
- ③世帯員以外は委任状
- ④ナンバーがない場合はナンバー紛失届 (窓口にあります) と紛失手数料 2 0 0 円

※ 理由書 (又はナンバー紛失届け) には、盗難でナンバープレートがない場合は、警察に盗難届を出した時の受理番号・届出年月日・警察署名等を記入します。

名義変更の手続きで必要なもの

■三輪・四輪自動車 (軽自動車検査協会土浦支所)

- ①自動車検査証
- ②新しい使用者の印鑑 (法人は代表者印)
- ③使用者と所有者が異なる場合は所有者鑑
- ④住民票 (法人は商業登記簿謄本か抄本、外国人は外国人登録済み証明書いずれも発行後 3 ヶ月以内のもの)
- ⑤管轄が変わる場合はナンバープレート

■軽自動二輪車 (1 2 6 c c 以上) (土浦自動車検査登録事務所)

- ①自動車検査証または軽自動二輪届出済証
- ②前所有者と新しい所有者の印鑑
- ③新しい所有者の住民票
- ④有効な自賠責保険証 (2 5 0 c c 以下)
- ⑤管轄が変わる場合はナンバープレート
- ⑥代理人の申請は委任状 (2 5 1 c c 以上)

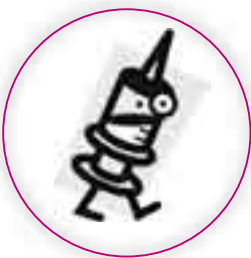
■八郷町ナンバーのバイク (1 2 5 c c 以下) と農耕用車両 (役場 1 階住民課)

- ①新しい所有者の印
 - ②世帯員以外は委任状
- 前所有者の住所かナンバーがわかれば変更できます。

けんこう通信

●八郷町保健センター 電話 43 - 6655

メールでの相談も受付けています。
hoken@town.yasato.ibaraki.jp



◆お子さんの予防接種はお済みですか

八郷町では生後3カ月から7歳6カ月のお子さんに対し予防接種の受診券を発行しています。

対象となる予防接種は三種混合（破傷風・ジフテリア・百日咳）麻疹、風しん、日本脳炎となります。また、BCGとポリオは八郷町保健センターにおいて集団接種を行っています。

◆「子ども予防接種週間」のお知らせ

【期間】

平成17年3月1日（火）から
3月7日（月）

*4月から入園・入学など集団生活を迎えるお子さんの保護者の方はこの機会にお子さんの予防接種状況をご確認ください。

◆お子さんの予防接種についての質問は

八郷町保健センター

電話0299（43）6655

◆講座のお知らせ

「第8回県民のための

健康管理講座」

筑波大学附属病院及び財団法人桐仁会は県民の皆様の医療意識の向上を図る事を目的に筑波大学臨床医学系教官の協力を得て、第8回健康管理講座を八郷町と共同開催致します。

【講演内容】

「生活習慣病とは、高脂血症と言われたら、糖尿病の怖い合併症を防ぐには」

スクリーンを見ながらわかりやすく解説し、質疑応答を行います。

【講演者】

筑波大学大学院

人間総合科学研究所

教授 山田 信博 先生

講師 島野 仁 先生

講師 曾根 博仁 先生

【日時】

平成17年3月3日（木）

午後3時から5時

【会場】

八郷町立中央公民館

【お問い合わせ】

●八郷町保健センター

0299（43）6655

●財団法人桐仁会

029（858）0128

*無料です。お近くの方とお誘い合わせの上お越し下さい。

「教室紹介コーナー」

「こころでは保健センターで実施している教室の紹介をします」

八郷町保健センターでは住民の皆様が健康に過ごせる様に様々な保健事業を行っています。

今回はその中の一部をご紹介します。

《各地区出前健康相談》

保健師が各地区公民館へ出向き血圧測定、尿検査、血糖値測定を無料でを行います。また、健康に関する相談も実施しています。

*日程・場所は回覧文書及びお知らせ版等でご確認ください。

らせ版等でご確認ください。

《糖尿病相談》

八郷町保健センターにて血圧測定、尿検査、血糖値測定を実施し、保健師及び管理栄養士が相談に応じます。

*毎月第2月曜日の午前中に実施しています。連休などで実施日が変更になる事がありますのでお知らせ版等で日程をご確認ください。

保健センターでは、このほかに随時来所相談も無料で実施しています。



保健師の一口メモ

このところ寒い日が続いています。風邪などひかずに元気に過ごされていますか。ところで、皆さんはこたつ愛好者でしょうか。こたつに一度足を入れたら最後、30分後には首から下がすっぽりとこたつ布団に隠れているなんて事はありませんか。こたつに入っていると不思議と安心してリラックスする事ができますよね。母親のような暖かさを感じます。

ご家庭に小さいお子さんがいる皆さん、わが子にこたつに入っている時のような暖かさを与えていますか。

核家族、共働きの家族が増え、しかも子どもは幼い頃から習い事をしている現代では、毎日の生活に追われ休日でもない限りゆとりとする事が難しいのが現実ではないでしょうか。ほんのちよつとの時間でいいのです。家族みんなでこたつに入り今日一日の出来事を語りあう余裕が欲しいですね。

皆さんも、冬ならではのこたつで一家団らんしてみませんか。

保健師 吉田

図書室からのご案内

開室時間 午前8時30分から午後5時

- 本の貸し出しは1人当たり1回5冊までです。
- 貸し出し期間は2週間です。土・日もご利用できます。

新刊図書ご案内

○一般図書

いばらぎじゃなくていばらき

青木 智也

ピンちゃんのモノづくり奮戦記

佐藤 一男

金砂大祭礼

茨城新聞社

ドキュメントHAZAN誕生 茨城新聞社

茨城の酒と蔵 茨城新聞社

茨城の占領時代40人の証人 茨城新聞社

いばらきの湯 茨城新聞社

常陸国風土記をゆく 柴田 弘武

新考 伊能忠敬 伊藤 一男

常磐線沿線の湧水 福島 茂太

○児童図書

まんがサイエンス あさり よしと

新世界絶滅危機動物図鑑 今泉 忠明

あめふり さとう わきこ

いそがしいよる さとう わきこ

すいかのたね さとう わきこ

どろんこおそうじ さとう わきこ

たいへんなひるね さとう わきこ

そりあそび さとう わきこ

やまのぼり さとう わきこ

あひるのたまご さとう わきこ

八郷町立中央公民館 電話 43-6262

八郷の歴史 (47)

八郷町の文化財

八郷町の町史編さん事業を始めてからあらためて町内にあるさまざまな文化財の見直しをはじめました。

一番最初は文化庁の依頼もあり、埋蔵文化財の調査でした。続いて、未登録文化財の調査ということで、寺院に安置されている仏像の調査、そして今は寺社など建造物文化財の調査が行われています。もちろん、町史編さん事業以前から教育委員会では、無形文化財を含めて調査して記録保存をしています。それは必要にせまられての調査であり、記録保存であつたりでした。したがって、現在でも記録保存となると、調査した中のほんの一部しか冊子にまとめたものはありません。それでも十年ほどの間に十冊ほ

どの冊子が刊行されました。

今、八郷町史の通史の刊行が間近です。その中にいくつかの大切な文化財についての掲載を考えていますが、できれば単独の文化財冊子を刊行できればなどと思っているところです。

○埋蔵文化財

文化庁の依頼で始まった調査でしたが三年の歳月をかけて、無土器・縄文・弥生・古墳の各時代別に調査した結果は、現在指定している遺跡を含めて一四六カ所を指定することができた。もともともい遺跡は縄文時代の遺跡であるが、その多くは湮滅地であつて、表面に土器片が散在している状態であつた。しかし、一カ所であつてもかなり広い面積に散在するこ

とが多いため、開発などの場合には徹底した調査が必要である。埋蔵文化財でもっとも注意しなければならないのは古墳の遺跡である。八郷町では、丸山古墳・佐自塚古墳・兜塚古墳・岩谷古墳など知られている古墳もあるが、一般的には小さな円墳が多く、約二五〇基ほどが点在する。多くは古墳群の中に点在しているが、単基ではこれからも発見される可能性が高い。

○未登録文化財・建造物文化財

全国的に仏像の盗難などがあり、八郷町でも数軒の仏像盗難があり、どのように保護すべきか、指定すべき貴重な仏像や仏画があるかどうか、建造物では、文化財として登録すべきかどうかなどを調査確認した。寺社・堂宇三五九カ所、近

代建造物二十五棟、仏像仏画・法具・彫刻など三〇〇点以上の調査でした。

長楽寺・大覚寺・正法寺・雲照寺・真光寺・広福寺・観音寺・光明院跡・横室神社・葛浦沢公民館・地磁気観測所・日等神社・定光寺などで、平安末・鎌倉・室町・江戸期などの仏像・仏画・彫刻などが発見され、建造物では登録文化財として価値のあるものもあり指定できないかなどの検討をしているところです。

いよいよ、八郷町史が発刊されることとなった段階で、どれだけ歴史の記述の中にさまざまな文化財を掲載できるのだろうかと四苦八苦しているところです。

町史編さん編集主幹 関 肇

二十歳を節目に新たなスタート

平成 16 年度八郷町成人式典が 1 月 9 日に中央公民館で行われました。今年は 346 名の新成人が式典に参加。会場は晴れ着に身を包んだ若者たちで華やかな雰囲気に包まれました。

式典では、新成人に成人証書と記念品が授与され、町長をはじめ、多数の来賓からお祝いの言葉が贈られました。新成人を代表して、飯村大さん（山崎）が謝辞を述べ、「今日という日を新たな出発点とし、大人としての責任と義務を肝に銘じ、焦らず一步一步、着実に精進していくつもりでおります」と気持ちを新たに決意を語りました。

今年の成人式に掲げられたテーマは「歩 ～ 未来へ～」それぞれの未来を充実した素晴らしいものにしてほしいですね。



日本郵政公社主催 コンクールで町内から入賞

このほど、日本郵政公社主催「第 30 回私のアイデア貯金箱コンクール」の中央審査会において、町立柿岡小学校 5 年の松崎翼さんがアイデア賞に、同 4 年の杉山諒さんが関東支社長賞に入選。地方審査では同 1 年の川井拓磨さんが八郷郵便局長賞に入選しました。

また、「第 14 回国際ボランティア作文コンクール」においては、団体の部で柿岡小学校（岡本利道校長）が日本郵政公社関東支社長賞を受賞。同小は、昨年も団体の部で理事長賞を受賞しており、2 年連続での団体賞受賞となりました。個人の部でも、同 5 年の小松崎岬さんが日本郵政公社関東支社長賞を受賞しました。

岡本校長は「子どもたちが取り組んだ結果で、ありがたい。こういった作品・作文などはいろいろなことを考



えるよい機会になっていると思う。特に作文については、思いやりの心育成に取り組んだ結果が身に付いている証であり、これからも、人権や優しさ思いやりについて、地域とも連携して児童に浸透させていく」と話しています。



事件事故を未然に防止するためには、皆さん一人ひとりが防犯意識を持つことが大切です。

安全で安心できるまちづくり推進大会が 1 月 29 日に中央公民館で開催されました。犯罪や事故のない地域社会づくりをめざし、石岡警察署と管内 6 市町村が共催。関係機関団体、住民などおよそ 300 名が参加しました。水戸女子高等学校校長・鈴木康之氏による講演が行われたほか、「振り込め詐欺」の寸劇が八郷高校生らによって上演されました。

**安全で安心できる
まちづくりをめざして**

1 月 22・23 日に尾瀬岩鞍スキー場で開催された茨城県スキー技術選手権大会で、瓦谷の小松友行さん（八郷スキークラブ所属）が見事優勝を飾り、3 月 9・14 日に長野県八方尾根で開かれる全日本スキー技術選手権出場の手に入れました。おめでとうございます。次の大会でのご活躍を期待しています。

瓦谷の小松友行さん優勝!!

第28回町民マラソン大会結果

第28回やさ町民マラソン大会が1月29日に八郷町総合運動公園で開催され、508名の参加者がレースに挑みました。

結果は次のとおりです。【敬称略】

〔2kmコース〕

▷小学校3・4年男子の部

①久保達也（園部小）②萩原大智（柿岡小）③小林学裕（林小）④藤岡睦（園部小）⑤塚田啓雅（柿岡小）⑥加藤将也（林小）

▷小学校3・4年女子の部

①加藤優（林小）②長谷川眞子（小幡小）③加藤愛理（園部小）④小林真由香（つくばねスポ少）⑤実方百恵（園部小）⑥玉熊春乃（吉生小）

▷小学校5・6年女子の部

①苅部里美（つくばねスポ少）②吉田穂菜美（恋瀬小）③上田美紗希（小幡小）④柘植真理子（恋瀬小）⑤小松崎千春（小桜小）⑥柴田茉莉（園部小）



〔3kmコース〕

▷小学校5・6年男子の部

①酒井政貴（小桜小）②川井大輔（柿岡小）③倉田泰明（東成井小）④鈴木聡晃（東成井スポ少）⑤萩原大希（つくばねスポ少）⑥木村公亮（小幡小）

▷中学女子の部

①中尾美咲（園部中）②金子美津紀（園部中）③高柳春香（園部中）④薄井桃子（園部中）⑤実方瞳（園部中）⑥萩原満奈美（園部中）

▷壮年男子（50歳以上）の部

①仁平森義（小幡）②江幡政光（常北町）③笹沼登（下林）④林義雄（柿岡）



〔5kmコース〕

▷中学男子の部

①木村祐太郎（園部中）②花和諒（園部中）③真家宗嗣（園部中）④平塚涼介（有明中）⑤川松達矢（園部中）⑥大槻進矢（園部中）

▷一般男子の部

①山本則幸（山崎）②常井裕二（園部中教員）

▷壮年男子（40歳以上）の部

①横倉学（岩間町）②岡本恵次（柿岡）③三輪豊（鯨岡）

▷壮年女子（40歳以上）の部

①長谷川和江（須釜）

▷壮年男子（50歳以上）の部

①石崎均（友部町）②鈴木正男（山崎）

〔10kmコース〕

▷高校男子の部

①石崎則幸（八郷高校）②吉川瑞貴（八郷高校）③石塚茂樹（八郷高校）

▷一般男子の部

①川瀬和幸（美野里クラブ）②小松崎一郎（川又）③木村忠夫（山崎）④矢口典弘（下林）⑤大塚泰司（真家）⑥中嶋洋（加生野）

ありがとうございます

町立園部中学校へ、藤商事有
限会社より、卓球台3台が寄贈されまし
た。

■訂正とお詫び ▽広報やさと平成

17年1月号3ページの「平成15年第4回
議会定例会」は「平成16年第4回議
会定例会」の誤りです。▽同3ページ下
から2段目「八郷町準用河川の流水
占用料等に関する条例の一部を改正
する条例」は「全部を改正する条例」
の誤りです。▽同3ページ下から2段目
左から5行目の「歳入歳出それぞれ
220万4千円を減額して」は「増
額して」の誤りです。▽同14ページ習字
コーナー・左の作品「野村恵」さん
は、「青木恵」さんの誤りです。▽
同16ページ広報クイズ3問目の「12月9
日に恋瀬小学校で行われた化学実験
教室」は、「12月11日に恋瀬小学校
で行われた科学実験教室」の誤りで
す。この問題については、応募者全
員正解とさせていただきます。▽以
上、訂正するとともに深くお詫びい
たします。

広報係からのお知らせ



広報やさとの14・15ページ「みんなの
広場」習字コーナー、やさと文芸
わたしも一言 イラストへの投稿を
お待ちしております。



●皆さんが作る
ページです。
作品をお寄せく
ださい。

習字コーナー

評(財)独立書人団審査委員 関翠邱

星の宮幼稚園幼長 青木拓郎

えき
ようきょうに たくろう

柿岡小二年 原部拓海

休
小2 8 拓海

生寅、に、た、作、で、す。
間張りの子々として
始めてどく、生々として
始め、地味、切れる、の、いい、習字、の、味、です。

いいま、堂々、と、書、り、な、く、な、る、言、が、手、力、強、く、な、る、と、感、上、で、秀、い、だ、が、大、肉、男、性、的、嫌、は、ま、で、い、の、し、た、習、字、で、い、い、と、して

●やちと文芸

短歌

大塚 誠 選

吾が焼きし瓶に狹庭の終り菊を夫に手向けて心のみぬ

月岡 萩原 照子

平成の世に何を見む新札の一葉清き眼差にして

山崎 荒井 幸子

忌にふれて先祖敬ふ営みは引継がれをり仕来りの中

弓弦 塚田 キヨ

俳句

綿引 鼓峰 選

お土産の寒芹束ね待ちくれし

瓦谷 山崎 景子

あわあわと乙女の夢よ冬桜

太田 坂本きみ子

阿弥陀堂茅葺まろし梅ふふむ

片岡 馬場 小零

俚謡

鈴木 弦月 選

老を感じぬ揃った夫婦うすい髪にも匂う青春

下林 菊地とし子

お屠蘇酌み合い揃った家族写す写真もにこやかに

柿岡 鈴木千代子

親の愛情で育った宝写す晴着の似合う髪

下林 白井富喜江

●「わたしも一言」

最近、私の地区に配布された『PTAだより有明』に、「い

たくさん心に残る」記事(※抜粋)が掲載されており、当該地区にとどまらず広く町民の皆さんに読んで頂いたらどうかと思います。子どもたちの非行は単に教育現場の先生方の努力のみではどうにもならない問題であることはいまでもないことで、家庭、学校、地域、関係諸団体がそれぞれの役割をしっかりと認識して健全な青少年の育成に努めなければ良い成果も期待できないことでしょう。すでに活動している「青少年を育てる八郷町民の会」などのよりよい成果が得られることを心から期待したいところです。

匿名

※抜粋

「有明のひろば」より

中学生つて

匿名

私達の中学校時代。入れ替えても入れ替えても次々と割られていく窓ガラス。あちらこちらに投げ捨てられたタバコの吸殻。目もうつろうつろにふらついている中学生。

今の有中生を見て思います。あなた達の視線の先には何が見えていますか。明るい未来ですか。真つ暗な闇ですか。どちらにするのもあなた達自身なのです。四十になった今、中学時代の仲間達とお酒を飲む機会が増えて、話すのは昔の仲間達の話。まじめになった子もいるが、あの当時、シンナーで汚れていた子の大半がそのまま覚せい剤に溺れ、刑務所と外の世界を行ったり来たりしている。いい歳をして・・・と思うのだが、なかなか人生のリセットをすることが出来ないらしい。

たつた三年間の中学校生活です。楽しく悔いのない三年間にしてくださいね。

この文は、平成16年2月に有明中学校PTAが発行した文集「有明のひろば」の中から一部抜粋し、平成16年12月発行「PTAだより有明」に掲載されたものです。

みんなの広場

わたしの手料理

ぼっかぼっか
麻婆じゃがいも



食生活改善推進員（ヘルスメイト）
田中 幸枝（小屋）



【材料4人分】

○じゃがいも 中3個○玉ねぎ（みじん切り）
大さじ2 ○ひき肉 200g ○A《しょうが
（みじん切り）・にんにく（みじん切り）・豆板
醤 各小さじ1》○B《ケチャップ・しょうゆ・
さとう・酒 各大さじ1》○水 カップ1 ○
サラダ油 大さじ1 ○片栗粉 適量

【作り方】

- ①じゃがいもは2cm角に切り、水にさらす。
- ②玉ねぎとAをサラダ油で炒める。
- ③②にひき肉を加えて炒め、さらにじゃがいも、
B、水カップ1を加え、ふたをして約5分くら
い煮る。
- ④ふたを取って、水分がなくなるまで煮詰め、
水溶き片栗粉適量を加える。
- ⑤皿に盛り、彩りに香菜などを適宜添える。



P.N チョ×2バリ×2エド LOVE♡



P.N ピンク



半田 関香織



P.N 明暗



月岡 萩原志づ



P.N ナウシカ

イラスト

わが家の

アイドル

太田

富田 妃花 ちゃん
ひかり ちゃん

平成15年9月18日生まれ
父 雅史さん 母 純子さん



♡家族からの一言

犬や猫の動物が大好きな元気
いっぱいの子です。音楽も
好きで、音に合わせて体を動か
したりします。

最近では、お兄ちゃんの真似
ばかりして、おもちゃの車で遊
んだりもしています。
礼儀正しく淑やかな人になっ
てほしいです。

広報クイズ203

全問正解者のなかから抽選
で素敵な賞品が当たるよ

3つの答えの中から正解を選びハガキに書いて
送ってください。

①八郷町が誕生してから今年で何年になりますか？

A－30年 B－40年 C－50年

②平成16年度成人式典に掲げられたテーマは
なんですか？

A－歩～未来へ～ B－輝く未来へ

C－新たな旅立ち

③国保の退職者医療制度は、年金証書が届いて
から何日以内に国保の窓口へ届け出をしなければ
ならないでしょうか？

A－7日 B－10日 C－14日

【応募の方法】

☆ハガキに広報クイズ203と書き、答えの記
号(例①－A)、住所、氏名、年齢、世帯主名
と「私もひとこと」へのご意見や広報の感想な
どを書いて送ってください。イラストなども大
歓迎。

☆締切日 平成17年3月15日(当日消印有効)

☆応募先 〒315-0195 八郷町柿岡 5680-1

八郷町役場秘書広聴課

☆当選者の発表 本紙4月号

【広報クイズ201の当選者の発表】

正解は①－C、②－B、③－Bでした。応募総
数44通、正解43通の中から次の10人が当
選しました。

市村幸三(小見) 小松崎博美(上曾) 島田敦弘
(須釜) 関きみ子(柿岡) 関口瞬也(柿岡) 田
口博保(柿岡) 仁平茂子(小幡) 萩原志づ(月岡)
菱沼恵美(月岡) 藤崎美恵子(真家)【敬称略】

対象となる人

次の条件のすべてにあてはまる人
(退職被保険者)とその被扶養者です。

退職被保険者(本人)

国保に加入している人。(ま
たは、これから加入する人。)

老人保健の適用を受けていな
い人。

厚生年金や各種共済組合など
の年金を受けられ、その加入
期間が20年以上、もしくは
40歳以降10年以上ある人。

被扶養者となる人

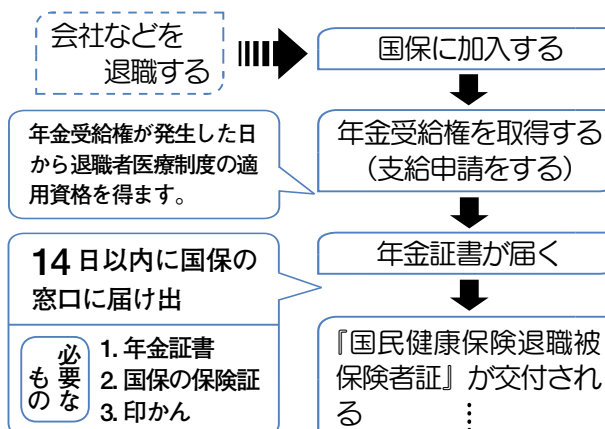
国保に加入している人。

老人保健の適用を受けていな
い人。

退職被保険者の配偶者(内縁
関係でも可)。退職者本人と
同じ世帯で、主としてその収入
によって生活している三親等以
内の人。

加入手続

加入手続は次のような流れで行います。



診療を受けるとき

医療機関の窓口へ『国民健康保険退職被保険者証』を
提示して診療を受けます。

医療費の自己負担

退職被保険者・
被扶養者ともに
70歳未満は

3割負担

※3歳未満は2割負担

退職被保険者・
被扶養者ともに
70歳以上は

1割負担

(一定以上所得者*は2割負担)

*一定以上所得者
同一世帯に一定以上(課税所得
124万円)所得がある70歳以上の
国保被保険者または老人保健対象
者がいる人。
(年収例)
・単身世帯の場合
(年金+給与収入): 450万円以上
・二人以上世帯の場合
(年金+給与収入): 637万円以上

75歳になったら老人保健制度で診療を受けます。

昭和30年に一町七カ村が
合併して八郷町が誕生して
から、今年1月で50周年の
節目の年を迎えました。50
年間を町民の皆さん一人ひ
とりと歩んできた八郷町は、
10月1日の石岡市との合併
に向けて、現在話し合いが進
められています。今月号から
石岡市と八郷町の合併につ
いて合併協議会の様子や、詳
しい取り決めなどの内容を
お知らせするため、合併議
会だよりを掲載しますので、
ご覧ください。(W)
インターネットで、生年月
日を入力・・・すると厄年
を自動で調べてくれる・・・
「今年あなたは厄年です。あ
なたの人生において最も注
意が必要な年。厄払いのご
祈禱をすませて、心やすら
かに。」ガガーン!! ものす
ごく心配なので某観音に参
拝し、護摩祈願をしてきま
した。何ごとをするのにも
いつにも増して注意を払っ
ていたりします。無事、厄
年を越せますように。(S)

